



石部南学区 まちづくり協議会広報

平成26年3月15日発行

第29号

広報部会

発行：石部南学区まちづくり協議会 湖南市石部南3-5-1 石部南まちづくりセンター内 電話 0748-69-7068

きらめき湖南 ハートフルベンチ プラス ONE

平成26年3月9日（日）石部南学区において、「第4回防災ウォーク」が開催され、スタッフを含めて約131名の参加者がありました。各箇所に設置された「かまどベンチ」を活用したカレーライスや甘酒、うどん、焼き芋などをいただきながら、避難所確認のウォーキングが出来ました。



部会活動紹介

環境部会

◆ゴミ拾いウォーク

2月23日(日)に各地区にてゴミ拾いウォークを実施しました。回収したゴミは分別して廃棄しました。

“分ければ資源・混ぜればごみ”



福祉部会

◆小地域福祉活動実践経過報告会参加

2月8日(土)14時より湖南市社会福祉センター2階にて、小地域福祉活動実践経過報告会があり、市内の5つのまち協の発表が行われました。わが石部南学区まちづくり協議会からは、福祉部会長の山元角雄さんが発表されました。休憩を挟み、ボランティアグループのアトラクション、続いて近江富士第五区自治会の記念講演がありました。当日は雪降りの悪い天気にもかかわらず、約80名の参加があり、みなさん熱心に耳を傾けていました。



広報部会

◆市役所ロビーにパネル展示

2月21日より一週間、湖南市東庁舎ロビーに我がまち協の認知拡大を目的とした活動パネルを展示しました。



◆外部組織との交流会

2月5日(水)三雲学区まちづくり協議会(総務部会)と柑子袋まちづくりセンターにて交流会を開催し、情報交換を行いました。



各自治会トピックス

宝来坂区

1月25日(土) かなかなサロン主催のたこ焼きパーティが、宝来坂集会所にて開催されました。総勢約60名参加のもと、最後はbingoゲームも行い、大変盛り上がりました。



石部南区

2月2日(日) 小地域福祉活動の一環として、「ぜんざいパーティ」を団地集会所で開催し、35名の参加がありました



宮の森区

2月2日(日) 集会場にて子ども会主催で映画鑑賞会が開かれました。もらったお菓子を食べながら、楽しいひと時を過ごしました。



福祉施設紹介

【滋賀県立近江学園】

近江学園は糸賀一雄氏によって、昭和21年11月に知的障害児や戦争孤児たちのための施設として大津市南郷に創設され、昭和46年に現在の地である湖南市（旧石部町）東寺に移転してきました。創立から67年になります。またこの3月には初代園長であり、『この子らを世の光に』と人々に語りかけ「障害者福祉の父」と呼ばれた糸賀一雄氏の生誕100年を迎え、昨年より関連行事が行われているところです。

現在は知的障害児施設として、100名近い子ども（利用者）たちが6つのグループに分かれて生活しています。そして日中については、義務教育年齢の人たちは三雲養護学校、石部南小学校や石部中学校に通学、義務教育を終えた人たちは養護学校の高等部や高等養護学校へ、また学園内の窯業科・木工科・軽作業科において活動しています。学園

では安心・安全を第一に、子ども（利用者）たちが生活スキルや社会スキルを身に付けて心豊かに成長していくように支援を行っています。学園で生活することは、地域で共に生きることでもあります。地域の皆さんのご理解とご支援が何よりありがたく思っています。

昨年の夏には、まち協の皆さんにより「かまどベンチ」をグラウンドに設置して頂きました。さっそく11月16日に開催した同窓会で、芋粥や豚汁を調理し、約200名の参加者に振る舞い、喜んで頂きました。ありがとうございました。これからも暖かい目で子ども（利用者）たち、学園を見守って頂きますようよろしくお願ひいたします。



管理棟とグラウンド



学園の入り口にある通称

「どんぐり橋」と桜

連載 歴史の小径

阿星寺・常楽寺釣鐘堂

第17回

阿星寺

竹内利夫氏著



阿星山は、元明天皇(和銅年中 708~715)約1300年前のころ金剛菩薩(良弁ともいわれる)が阿星山(693.3m)を中心に東の飯道山(水口)と西の竜王山(金勝山、栗東)の連峰の3山の大岳に精舎(寺院)建立された。その中心的な役割を阿星山が負った。こうした山々が一つの山岳修行の場であり、飯道山(664m)金勝山(604m)などを含めて五千僧坊が誕生したとの伝説がある。その山腹での修行僧達が修行した寺院が聖武天皇時代に山岳で多くの山手が王城鎮護の役割を果たしたといわれている。山ろくの東谷には長寿寺が、西谷には常楽寺が造営された。

阿星寺はその後魔風のために火災が発生し、本尊の千手千眼觀音が常楽寺に飛んできたという。山腹にある堂立遺跡や阿星寺跡は当時の阿星寺の一部といわれている。なお、堂立遺跡は現存するが、阿星寺跡は不明である。

2003 冬

常楽寺 釣鐘堂

現在の釣鐘堂は大正7年10月に再建された鐘楼であり、元禄11年9月7日(316年前)に梵鐘が建造されました。それまでは常楽寺には釣鐘がなく、地元の村民をはじめ、多くの近隣の信者の願いの元に村々より寄付を募り建造費の捻出をはかられたが、その拝観料では費用がまかなえず翌11年2月10日~3月末まで柑子袋で出開帳を催して街道の道中の旅人にも助成を請がって費用の捻出し釣鐘建造、鐘楼造立をえた甲賀郡檜物荘西寺阿星山西寺常楽院との銘がある。

この釣鐘は太平洋戦争の末期に武器の一部に役立つべく出世をした思い出があります。私の子供の頃で釣鐘に赤いたすきをかけて日の丸に飾られ荷車に乗せられて“バンザイ、バンザイ”的歓呼に送られて石橋を渡って行ったのが目に浮かびますが、戦争の終決を迎えて、どこかの地に解体されずにそのままの形で有り鉄の質の調査の為に小さな穴があいている程度で常楽寺に返還されたのです。

2004 春

平成26年度 定期総会開催予定

日時：4月27日(日) 午前10時より

場所：石部南まちづくりセンター

石部南学区まちづくり協議会のホームページアドレス

<http://www.ishibe-minami.net/>

メールアドレスは info@ishibe-minami.net